

「出題の意図」

選抜区分	平成 31 年度 （選抜区分：推薦選抜） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：総合問題・面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>※一部記載されていない問題もございます。</p> <p>【総合問題】 ＜出題の意図・ねらい＞ 第3問（造形） 問1 建築のデザインを行う上で基礎的な素養として必要な立体的な空間の認識力・想像力、三次元的な表現力、スケッチによる描写力等の総合的な造形力をみる。 問2 与えられた質問に対して的確に題意を捉え、自らの見解を述べているかを問うものである。特に、想像力、発想力、論理的思考力、文章表現力をみることを狙いとする。</p> <p>＜受験生の特徴と傾向＞ 第3問（造形） 問1 スイスの山頂の村における建造物であるという条件下において、写真の建物がどのような全体像であるかを想像させ、立体的な描写を課すことによって、立体的な空間の認識力、想像力、スケッチ力等の能力を見た。別の角度から見たスケッチを課題とすることで、写真からだけでは伺い知ることのできない全体像の描写に期待した。写真を反転させただけの立体を描き上げていた受験生が多い傾向にあった。傾斜面を活かした、独創的な発想力を有する提案は少なかった。</p> <p>問2 特徴的な形を有する建物が設けられた目的について想像し、入り口の位置やハイサイドライト（高窓）、そして鐘塔をヒントに、短文で論理的な説明ができるかをみた。スイス・山頂の村という立地から牧草地や山小屋をイメージした回答が殆どであったが、中には先のヒントから正解である教会であると答えた者も僅かにいた。</p>

【面接】

<面接内容>

10分程度の個別面接・口頭試問を行った。

- ・志望動機、高校生活の充実度や実績
- ・本学科の教育目的・内容・特色の理解度
- ・建築物に対する興味や意識の高さを確認
- ・戸建て住宅に関する構造体の認識とそれに関する自身の意見
- ・建築を学ぶ上で活かせると考える自身の学識や技能
- ・本人の長所を確認に関する質問をし、回答を求めた。

<受験生の特徴と傾向>

・例年同様に、事前に用意していたと推察される、志望動機や本学科の教育目的など質問に対しては、多くの受験生が自身の言葉で回答しており、丸暗記した内容を必死で言葉にしようとする受験生との差異が見受けられた。

・印象に残っている建築物に関する質問や、戸建住宅の構造に関して木造と鉄筋コンクリート造のどちらを選ぶかといった、建築に対する基礎知識を問うた際には、自身のこれまでの経験を踏まえて回答をする者については上手く答えている傾向にあった。